

緒 言

福井縣統計書ハ縣下行政其ノ他各般ノ統計ヲ蒐集シ既往現在ノ狀勢ヲ大觀セムカ爲毎年之ヲ刊行シ今ヤ昭和八年ノ統計書ヲ編纂スルニ至レリ本書編ヲ分ツニ其ノ一ヲ「土地戸口等」其ノ二ヲ「學事」其ノ三ヲ「産業」其ノ四ヲ「警察衛生等」ト爲ス

各編收録スル資料ハ主トシテ市町村及學校ノ報告竝廳内ノ調査ニ依リ或ハ關係官公署會社等ノ供給ニ求メタルモノアリ蓋シ世運ノ推移學術ノ進展ニ基キ統計ノ用益多キヲ加フ是ヲ以テ調査ノ正確ヲ期スルト共ニ表章方法ヲ更メ或ハ新ニ收録シタルモノ尠シトセス然リト雖尙遺憾ナキヲ保セザルニ依リ漸次之ガ改善ニ努メ時世ノ要求ニ應セシムル所アラムトス

昭和十年三月

福 井 縣 總 務 部



昭和八年 福井縣統計書目次

第三編 產 業

總 說	頁 1
第一 生産物總價額	
1 生産總價額	7
第二 農 業	
2 耕地面積	7
3 耕地整理ノ一	8
4 耕地整理ノ二	9
5 農産物總價額	10
6 米	10
7 米收穫高前年及五箇年比較	12
8 移出米検査	12
9 麥	13
10 食用農産物	14
11 園藝農産物ノ一(果實)	16
12 園藝農産物ノ二(蔬菜及花卉)	18
13 工藝農産物	20
14 糞肥用作物	22
15 果樹苗	24
16 茶 畑	25
17 桑 畑	25
18 桑 畑	27
19 農産物雜類	26
20 蒔	30
21 春 蠶	30
22 夏 秋 蠶	32
23 農作物被害	32
第三 畜 産	
24 畜産總價額	36
25 牛	36
26 牛 乳	38
27 馬	38
28 豚	42
29 綿 羊	42
30 山 羊	42
31 鷄	44
32 鶩	44
33 蜜 蜂	44
34 屠 殺	45

第四 林 業

35 林産總價額	46
36 民有林野面積	46
37 國有林植栽	48
38 國有林伐採	48
39 國有林野被害	48
40 保安林	49
41 公私有造林用苗木	50
42 公私有林野人工造林(新植)	50
43 公私有林野人工造林(補植)	54
44 竹林植栽	55
45 公私有林野天然造林	56
46 公私有林伐採面積	58
47 公私有林栽採材積	58
48 林野産物	62
49 木 炭	64
50 林野放牧	64
51 公私有林野被害	64

第五 水 産

52 水産總價額	65
53 水産業者	66
54 漁 船	68
55 遭難漁船	70
56 沿岸漁獲物	70
57 遠洋漁業	74
58 水産養殖	74
59 水産製造物	76

第六 鑛 業

60 鑛産總價額	80
61 鑛區及坪數	80
62 石材土石及鑛水	82

第七 工 業

63 工産物總價額	83
64 工場數及職工數	83
65 織 物	84
66 綿織物	90
67 絹織物及絹絲交織物	93

	頁
68 麻織物及麻交織物	98
69 毛織物及毛交織物	100
70 メリヤス製品	101
71 晒及染物	102
72 帽 子	104
73 陶 磁 器	104
74 瓦及土管	105
75 漆 器	105
76 製 革	105
77 皮革製品	106
78 植 物 油	106
79 澱 粉	106
80 木 製 品	107
81 竹 製 品	107
82 藤 製 品	108
83 杞柳製品	108
84 刷子及刷毛	108
85 蓆表蓆蔴及花蓆	109
86 製 茶	109
87 蠶絲類ノ一(總 數)	110
88 蠶絲類ノ二(機械絲)	112
89 蠶絲類ノ三(座線絲)	114
90 蠶絲類ノ四(玉 絲)	116
91 真 綿	116
92 蠶 網	117
93 菓 製 品	118
94 乳肉製品及罐詰	119
95 釀 造 物	120
96 飲食物雜類	122
97 織物用具	124
98 窯業製品	128
99 紙 類	128

	頁
100 工產物雜類	132
101 製造肥料	136

第 八 商 業 會 社 銀 行 等

102 致資港外國貿易種類別	138
103 致資港外國貿易國別	138
104 港灣移出入貨物	140
105 商品陳列所(委託販賣品ノ部)	141
106 商品陳列所(參考品ノ部)	141
107 會社總數	142
108 會社資本金別	142
109 會社業態別	143
110 勸業銀行預金	145
111 勸業銀行預金預ケ主別	146
112 勸業銀行貸付金	146
113 勸業銀行貸付金年限別	146
114 勸業銀行貸付金借主別	147
115 無盡業者及資本金	147
116 無盡口數及給付契約高	148
117 無盡契約高給付金額別	148
118 無盡契約高職業別	148
119 無盡契約高期間別	150
120 無盡口數及給付契約高(都市別)	150
121 普通銀行資本金積立金入金出金純益金配當金	150
122 普通銀行貸付金	151
123 普通銀行諸貸付金擔保別調	152
124 普通銀行預金	152
125 普通銀行內國爲替	154
126 貯蓄銀行	154
127 貯蓄銀行預金	155
128 產業組合	154
129 郵便貯金	156

總 說

農 業

新地面積 昭和八年末ニ於ケル耕地總面積ハ六萬二千五百八十八町七段歩、内田面積ハ五萬六千四百四十四町一段歩、畑面積ハ一萬五千五百四十四町六段歩ニシテ田八割一分四厘畑一割八分六厘ノ割合ナリ。而シテ之ヲ前年ニ比スレバ田面積ハ八十二町七段歩ヲ減少シ畑面積ハ十五町五段歩ヲ増加セル爲總面積ニ於テ六十七町二段歩ノ減少ヲ見タリ。之カ原因ハ地類及地目變換ニ因ル潰廢面積二百六町歩ヲ主ナルモノトス。

本年內ニ於ケル移動ノ狀況ハ擴張ニ在リテハ二百二十三町一段歩内田九十五町歩畑百二十八町一段歩ニシテ、潰廢ニ在リテハ二百九十町三段歩、内田百四町二段歩、畑百一町八段歩ナルモ更ニ之ヲ種類別ニ觀レバ宅地ヲ耕地ト爲セルモノ百三十九町八段歩、開墾シテ耕地ト爲セル七十町一段歩ヲ擴張ノ主ナルモノトス又潰廢ノ主ナルモノハ前記ノ如ク地類及地目變換ニ因ルモノ二百六町歩ニシテ、此ノ外建物、道路等ノ敷地ト爲レルモノ八十町五段歩アリタリ。

米 昭和八年ニ於ケル米ノ作付段別ハ四萬八千八百五十一町九段歩ニシテ收穫高百十三萬七千三百十二石、價額二千二百八十三萬九百十四圓ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ作付段別ニ於テ五百九十六町歩（一分二厘）ヲ減少シタルモ收穫高ニ於テ十六萬二千七百四十八石（一割六分七厘）ノ增收ヲ示シ段當收穫高ハ二石三斗二升八合ト爲レリ。尙價額ニ於テ四百二萬四千三十餘圓ヲ増加シタルハ主トシテ增收ノ結果ニ由ル。

蓋シ本年ノ稻作ハ苗代時期ニ於ケル天候概シテ順調ナリシヲ以テ苗ノ生育良好ニ進ミ移植後氣温高ク炎天打續キタル爲稻ノ生育促進セラレ分蘗伸長共ニ良好ナリシト病蟲ノ發生モ近年ニ比シ少ク登熟充分ナリシヲ以テ九月二十日現在ニ於ケル第一回豫想收穫高ハ百四萬八千五百石ト豫想セラレタリ。而シテ其ノ後ニ於ケル天候亦適順ニシテ十月末日現在ニ於ケル第二回豫想收穫高ハ第一回豫想收穫高ニ比シ一萬三千六百六十石（一分）ノ增收ヲ示シ結局實收高ニ於テハ前記ノ如ク百萬石ヲ突破シ第二回豫想收穫高ニ比シ八萬六千八百六十七石（八分三厘）ノ增收ト爲リ近年ニ無キ豊穰ヲ見タリ。

尙最近五箇年間ニ於ケル作付段別、收穫高及段當收穫高ヲ掲グレバ次ノ如シ。

	作付段別 町	收穫高 石	段當收穫高 石
昭和	3	48,651.0	1,001,443
	4	49,804.1	1,008,500
	5	49,510.8	935,530
	6	49,436.9	923,888
	7	49,447.9	974,564
	5箇年間平均	49,370.1	968,785

因ニ作付段別ノ減少シタルハ昭和八年ヨリ米收穫高調査方法ヲ改正セラレ米作農家毎ニ調査案ヲ用ヒテ全國ニ亘リ統一調査ヲ實施セラレタルニ由ルモノナラム。

麥 昭和八年ニ於ケル麥作付段別ハ三千三百六十六町六段歩ニ

シテ收穫高三萬九千五百九十九石、價額三十二萬五千七百三十二圓ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ作付段別ニ於テ八十九町二段歩（二分六厘）ヲ増加シ收穫高亦六十一石（二厘）ヲ增收セリ。

蓋シ本年ノ麥作ハ昨秋播種後一月下旬迄ノ天候ハ比較的晴天多カリシモ其ノ後四月中旬ニ至ル間ノ天候ハ例年ニ比シ殊ニ低温ナリシト積雪ノ期間長カリシトニ依リ生育甚シク遲延シタリ。然レドモ四月下旬ヨリ漸ク天候恢復シ五月ニ入りテ俄ニ高温トナリタル爲發育順調ニ進ミシ處最モ警戒ヲ要スベキ結實期中六月下旬ニ於テ強風アリタル爲相當ノ被害ヲ蒙ルニ至レルモ小麥ノ増殖獎勵ニ依リ作付段別及收穫高ヲ増加セリ尙作付段別及收穫高ヲ種類別ニ觀レバ次ノ如シ。

	作付段別 町	收穫高 石
大 麥	2,476.4	30,664
稈 麥	62.7	786
小 麥	827.5	8,149

食用農産物 昭和八年ニ於ケル食用農産物ハ作付段別六千三百七十三町二段歩、産額九十七萬八千四百八圓ニシテ前年ニ比シ作付段別二十六町九段歩ヲ減少シタルモ産額ハ二萬八千三百圓ヲ増加セリ。而シテ作付段別ノ減少ハ近年漸減ノ傾向ニ在ル大豆ノ栽培ニ由ルモノノ如シ。

産額五萬圓以上ノモノニ付其ノ作付段別、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	作付段別 町	收穫高 石	價 額 圓
大 豆	2,382.8	26,888	349,595
馬 鈴 薯	833.6	2,210,667	220,732
甘 藷	963.3	2,146,968	190,807
小 豆	759.0	6,075	98,913
蕎 麥	834.7	7,489	64,630

果實 昭和八年ニ於ケル果實ハ總價額四十六萬八千四百三十圓ニシテ前年ニ比シ六萬二千七百九圓ヲ減少セリ。此ハ干柿ニ於テ二萬三千圓、梅一萬六千圓、桃一萬五千圓ノ減額ヲ主ナルモノトス。而シテ前年ニ比シ増加シタルモノハ葡萄ノ栽培ニシテ收穫高五萬三千三百五十六貫（八千七百二十五貫増）、價額二萬三千六百七十圓（三千九百五十八圓増）ナリ。

果實ノ主ナルモノニ付其ノ生産地ヲ觀ルニ柑橘類ハ嶺南地方ニ多ク殆ト全額ヲ占メ、桃ノ栽培ハ坂井郡頭角ヲ現ハシ全額ノ七割以上ヲ占メ、梨ハ丹生郡ニ於テ約六割ヲ生産シ、葡萄ハ今立、大野ノ南郡ニ於テ約二萬五千貫ヲ收穫シ全額ノ約五割ニ當レリ。

産額一萬圓以上ノモノニ付其ノ蒔敷、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	樹 數 本	收穫高 石	價 額 圓
生 柿	235,133	1,198,503	171,843
梅	49,114	3,423	80,517
干 柿	—	65,600	63,753
桃	131,900	296,001	60,938

日本梨	35,796	139,739	39,238
葡萄	22,149	53,356	23,670
蜜柑	34,810	58,336	12,548

蔬菜及花卉 昭和八年ニ於ケル蔬菜及花卉ノ總作付段別ハ三千三百十四町七段歩、總産額ハ百四十二萬四千九百七圓ニシテ前年ニ比シ作付段別四十八町三段歩、産額十萬三千六百十圓ナ何レモ増加セリ。而シテ作付段別ノ増加セルハ西瓜十一町歩甜瓜十町八段歩、トマト六町二段歩、生大根八町七段歩ヲ主ナルモノトス。

産額五萬圓以上ノモノニ付其ノ作付段別、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

作付段別	收穫高	價額
生大根	998.9	7,229,627
里羊	456.4	1,847,795
茄子	288.3	1,501,875
西瓜	188.5	843,707
牛蒡	102.4	342,070
胡瓜	141.9	556,643
葱	116.9	355,854

工藝農産物 昭和八年ニ於ケル工藝農産物ノ總作付段別千五百八十六町七段歩、總産額三十萬九千三百九十二圓ニシテ前年ニ比シ作付段別百八十七町五段歩、産額七萬百三十七圓ナ何レモ増加セリ。此ハ菜種ノ増殖獎勵ノ結果約二百町歩ノ作付増加ト爲リ從ツテ産額亦五萬四千餘圓ヲ増額セルニ因ルモノナリ。而シテ菜種ニ付其ノ主産地ヲ觀ルニ坂井郡五千五百石ヲ産シ縣下ノ五割七分余ニ當リ吉田、大野ノ兩郡ニシテ亞グモ兩郡ノ産額ヲ合シテ漸ク坂井郡ノ半數ナリ。

産額一萬圓以上ノモノニ付其ノ作付段別、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

作付段別	收穫高	價額
菜種	1,085.4	9,693
大麻	114.8	43,077
三極	143.9	54,455
蔴	28.6	78,136
杞柳	30.6	27,408
楮	79.5	36,072

蠶繭 昭和八年ニ於ケル蠶繭實戸數ハ一萬六千六百三十九戸、蠶種掃立數量ハ六十八萬九千九百九十五、收穫高ハ四十三萬六千三百十五貫、此ノ價額二百二十三萬七千五百八十九圓ニシテ、前年ニ比シ實戸數二十九戸ヲ減少セルモ、掃立量ハ四萬四千四百九十四瓦ヲ増加シ、從ツテ收穫高ハ五萬八千七百九十九貫ノ増收ヲ見、價額亦九十九萬二千四百三十三圓ヲ増額シ、實戸數一戸當リノ收穫高ハ二十六貫餘、價額百三十四圓餘ト爲リ前年ニ比シ數量三貫餘、價額六十圓餘ヲ増加セリ。

蓋シ本年ノ蠶繭ハ春蠶夏秋蠶トモ掃立以降ノ天候極メテ雁調ニシテ飼育ノ經過甚好ナリシト、且繭價ノ昂騰ニ依リ掃立量ヲ増加シ、延テ收穫ノ増收ト爲リ昭和五年以來ノ好況ヲ見タリ。

春蠶、夏秋蠶別ニ飼育戸數、掃立量及收穫高ヲ示セバ次ノ如

シ。

	飼育數	掃立量	收穫高
春蠶	14,743	357,701	253,378
夏秋蠶	14,410	322,398	182,937

畜 産

牛 昭和八年末ニ於ケル牛ノ飼養戸數ハ三千七百五十八戸其ノ飼養頭數四千六百四十五頭ニシテ前年ニ比シ戸數十二戸ヲ増加セルニ飼養頭數ハ反ツテ九十二頭ノ減少ヲ見タリ。而シテ飼養者ハ一頭飼養ノモノ九割五分ヲ占メ二頭以上ノ飼養者ハ僅ニ百七十三戸ナリ。

之ガ縣内ノ分布ヲ見ルニ遠敷郡最モ多ク、飼養者千五十一戸其ノ飼養頭數ハ千九十八頭ニシテ之ニ亞グハ大野郡ノ八百七十二戸九百五十頭、大飯郡ノ五百六十七戸五百七十七頭ナルモ概シテ嶺南地方ニ多シ。

尙乳牛ハ前記頭數中ニ包含セララルモ其ノ頭數ハ六百三十七頭ニシテ之ガ搾乳場數ハ百二十六、年内ノ搾乳高六千六百三十六石ナリ。

馬 昭和八年末ニ於ケル馬ノ飼養戸數ハ五千五百九十六戸其ノ飼養頭數五千九百八十二頭ニシテ前年ニ比シ戸數三百二十三戸頭數二百六十八頭ナ何レモ減少セルモ、前年ハ十一月一日現在ニ依ル地方馬一齊調査ノ結果、戸數頭數トモ激増ヲ見タリ而シテ飼養者ハ一頭飼養ノモノ九割五分餘ヲ占メ二頭以上ノ飼養者ハ僅カニ百七十六戸ナリ。之ガ縣内ノ分布ヲ觀ルニ大野郡六割以上ヲ占メ飼養者三千四百二十二戸飼養頭數三千四百七十九頭ニシテ坂井郡ノ千八百六十六戸頭數千四百頭ニシテ亞ギ二百頭乃至四百頭ノ吉田足羽ノ兩郡ヲ除キテハ何レモ二百頭未滿ナルモ嶺南ニ於テ三方郡ノ百四十八頭ヲ異彩トス。

豚 昭和八年末ニ於ケル豚ノ飼養戸數ハ百九十五戸、其ノ飼養頭數ハ八百九十七頭ニシテ、前年ニ比シ戸數六戸ヲ増加セルモ頭數ハ百十八頭ヲ減少セリ。而シテ之ガ縣内ノ分布ヲ觀ルニ福井市及大飯郡ニハ飼養者ナク、坂井郡ノ八十七戸、三百二十三頭ヲ首メ今立郡ニシテ亞ギ十九戸、二百二十八頭ヲ有シ、他ノ各郡ハ何レモ百頭未滿ナルモ、三方郡ハ飼養者三十四戸ヲ有シ坂井郡ニシテ亞グモ其ノ飼養頭數ハ僅カニ五十六頭ナリ。

鶏 昭和八年六年末日現在ニ於ケル鶏ノ飼養戸數ハ六千五百十七戸、其ノ飼養羽數ハ二十七萬二千二百十羽内成鶏十七萬二千七百三十三羽、雛九萬八千五百三羽ニシテ前年ニ比シ戸數四百八十七戸、飼養數二萬八千九百四十二羽ヲ減少セリ。而シテ十羽未滿ノ飼養者ハ年々減少スルモ五十羽以上ノ飼養者ハ之ニ反シ増加ノ傾向ナリ。

之ガ縣内ノ分布ヲ觀ルニ坂井郡第一位ニシテ五十羽以上ノ飼養者ノミニテモ二百二十四戸ヲ算シ飼養數七萬七千五百三十八羽ヲ有シ之ニ亞グハ丹生、敦賀、遠敷各郡ノ二萬五千餘羽ニシテ他ノ各郡ハ一萬乃至二萬羽ナリ。

尙前年七月ヨリ本年六月ニ至ル一箇年間ノ産卵數ハ二千五千四百八千餘個ニ達シ前年ニ比シ八十五萬二千餘個ヲ増加セリ

林 業

民有林野面積 本調査ハ毎三年ノ定期調査ニシテ昭和八年末現在ニ於ケル民有林野面積ハ十八萬四千四百九十町五段歩、内立木地十七萬四千四百四十町歩、無立木地一萬三千五十町五段歩ニシテ之ヲ前回調査ノ昭和五年末ニ比スレバ一萬五千九百九十七町二段歩ヲ増加シ、本縣總面積ノ約四割強ヲ占ム。

之ヲ所有者別ニ觀レバ私有地最モ多ク十五萬四千五百五十二町七段歩（八割三分五厘）ヲ占メ、町村有一萬九千四百四十二町一段歩之ニ亞ギ、此ノ外ニ在リテハ部落有四千四百六十六町歩ヲ主ナルモノトシ縣有、寺院有ハ何レモ二千乃至二千五百町歩ナリ。

尙立木地ヲ樹林別ニ觀レバ潤葉樹林最モ多ク八萬三千二百餘町歩ニシテ立木地ノ四割八分六厘ヲ占メ、針葉混淆樹林四萬八千餘町歩、針葉樹林三萬八千五百餘町歩ノ割合ナリ。

森林植栽 昭和八年末ニ於ケル民有林ノ新植ハ總面積千六百六十町三段歩、樹數二百九十八萬九千四百七十本、内針葉樹ハ面積千二百町八段歩、樹數二百五十八萬二千百十本、潤葉樹ハ面積百三十九町五段歩、樹數四十四萬七千三百六十本ニシテ、前年ニ比シ總數ニ於テ面積八十九町九段歩、樹數四十二萬三千六百三十本ヲ減少セリ。

主ナル樹種ニ付其ノ面積及樹數ヲ示セバ次ノ如シ。

	面積 町	樹數 本
スギ	8,885	2,201,200
クヌギ	732	222,130
ヒノキ	703	192,730
マツ	552	174,020
ケヤキ	245	63,050
ク	85	17,090

尙昭和八年ニ於ケル補植ハ三十四萬三千九百九十本ニシテ前年ニ比シ二萬二千八百八十二本ヲ増加セリ。而シテ其ノ主ナルモノハスギニシテ二十八萬八千本、之ニ亞グハまつ二萬七千四百二十本、ひのき二萬六千本等アリ。

森林伐採 昭和八年ニ於ケル伐採面積ハ二千二百九十六町一段歩、内用材四百三十一町四段歩、薪炭材千七百九十三町四段歩、竹材七十町三段歩ニシテ前年ニ比シ二百二十八町一段歩ヲ減少セリ。而シテ之ガ材積ハ用材二十萬六千四百二十二石、薪炭材十九萬四百七十三棚、竹材四萬六千三百九束ニシテ前年ニ比シ何レモ僅少ノ減少ナリ。

又之ガ總價額ハ百三十八萬三千六百三十七圓、内用材七十九萬六千七百五十五圓、薪炭材五十四萬八千八百六十八圓、竹材三萬八千四百圓ナリ。

尙用材ヲ主ナル樹種ニ付其ノ材積及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	材積 石	價額 圓
スギ	115,517	460,887
マツ	54,301	170,475
キリ	5,786	60,869
ケヤキ	4,677	43,494
ク	5,639	20,905

ヒノキ 6,952 18,388.

林野産物 昭和八年ニ於ケル林野産物總價額（木炭ヲ除ク）ハ三十萬八千五百七圓、内造林用種子六百五十七圓、樹實十六萬八千三百九十二圓、樹皮二萬二千六百六圓、其ノ他十一萬六千八百五十二圓ニシテ、前年ニ比シ七萬五千九百十二圓ヲ増加セリ。而シテ本縣ノ特産物タル樹實中ノあぶらざりハ收穫高九千九百三十七石、價額十二萬六千六百四十三圓ヲ産出シ全國第一位ニシテ、前年ニ比シ收穫高二千五百石、價額六萬五千圓ヲ増收セリ。又筍ハ近年丹生郡ニ於テ之ヲ加工シテ縣外ニ販賣スル結果收穫額ニ増加シ十五萬三千五百十三貫、價額二萬七千六百九十四圓内丹生郡ハ八萬四千五百四十貫、價額一萬三千九百四十九圓ヲ産出セリ。又近年栽培ヲ勸奨シツツアル山葵ハ三千二百二十六貫、價額一萬五千七百圓ニシテ大野郡及遠敷郡ヲ主産地トス。

木炭 昭和八年ニ於ケル木炭ハ數量八百六十三萬八千八百一十一貫價額百四十四萬九千六百九十圓ニシテ黒炭八割二分白炭一割八分ノ割合ナリ、之ヲ前年ニ比スレバ數量四十七萬二千九百八十二貫ヲ減少セルモ價額ハ三十萬七千四百三十五圓ヲ増額セリ。而シテ主ナル生産地ハ大野郡首位ニシテ二百五十六萬七千餘貫、價額四十四萬三千餘圓ヲ産シ之ニ亞グハ遠敷郡ノ百六十八萬三千餘貫、價額二十七萬四千圓ナルモ、七十三貫ノ今立郡ヲ除キ、五十萬貫内外ノ生産アル地方ハ丹生、三方、大飯、坂井ノ各郡ナリ。

水 産 業

水産業者 昭和八年末ニ於ケル水産業者總數ハ一萬四千六百六十八人、内業主七千八十人、被用者七千五百八十八人ニシテ前年ニ比シ總數ニ於テ僅カニ九十一人ヲ減少セリ。而シテ之ヲ業態別ニ觀レバ次ノシ。

	業 主	被用者
漁 撈	6,342	6,647
養 殖	100	45
製 造	638	896

尙漁撈業者ニ付詳記スレバ、本業者ハ業主二千八百四十六人被用者五千四百九十九人、副業者ハ業主三千四百九十六人被用者千四百四十八人ナリ、而シテ本業者ノ多キ地方ハ丹生郡及坂井郡ニシテ共ニ業主五百餘人ヲ有ス、被用者ハ丹生郡ノ二千四百八十一人斷然頭角ヲ現シ、坂井郡ハ約其ノ三分ノ一タル八百八十七人ナリ、之ニ亞グハ三方郡ニシテ業主四百七十七人被用者六百七十二人ナルモ、副業者在ニリテハ坂井郡最モ多ク業主七百一人被用者四百八十六人ヲ算シ、遠敷郡ノ業主四百九十六人被用者六十二人之ニ亞ギ、鮎漁業者ノ多キ大野郡及吉田郡ハ共ニ被用者ナク業主ハ何レモ四百八十餘人ニシテ業主ノ多キ地方ナリ。

漁船 昭和八年末ニ於ケル漁船總數ハ三千六百二十三隻、内無動力船三千百一十一隻、有動力船五百十二隻ニシテ前年ニ比シ總數ニ於テ僅カニ五隻ノ減少ヲ見タルハ無動力船三十七隻ヲ増加シ有動力船四十二隻ヲ減少セシムル。而シテ年内ニ於ケル新造船ノ總數二百二十三隻ニシテ前年ニ

比シ四十二隻ヲ増加シタリ、此ハ無動力船ノ五噸未満ノ小船ニ於テ五十二隻ヲ増加シタルモ有動力船ニ於テ十隻減シタルニ由ル、又廢用船ハ總數二百四十九隻ニシテ前年ニ比シ一隻ノ増加トナリタルモ、無動力船ニ於テ十五隻ヲ減シ、有動力船ニ於テ十四隻ヲ増加シタリ、願フニ漁村疲弊ノ爲其ノ經營維持ニ比較的多額ノ經費ヲ要スル所謂發動機漁業ヲ廢セルモノアルニ由ルモノノ如シ。尙年未現在船數ヲ噸數別ニ示セバ次ノ如シ。

	無動力船 隻	有動力船 隻
五噸未満	3,096	297
五噸以上十噸未満	11	143
十噸以上二十噸未満	4	62
二十噸以上	—	10

沿岸漁獲物 昭和八年ニ於ケル沿岸漁獲物總價額ハ百五十萬二千七百九十六圓ニシテ前年ニ比シ十四萬六千二百四十二圓ヲ増加セリ之レ概シテ鹽漁ナリシニ依ルモノノ如シ。之ガ數量及價額ヲ種類別ニ示セバ次ノ如シ。

	數量 斤	價額 円
魚類	3,606,301	1,336,706
貝類	96,921	44,621
其他水産動物	326,717	243,597
藻類	78,235	27,872

而シテ産額ノ多キ地方ハ丹生郡ノ五十萬六千圓ヲ首位トシ之ニ亞グハ二十二萬圓内外ノ坂井、三方、大飯、ノ各郡ニシテ、南條郡ノ十七萬圓遠敷郡ノ十萬圓ヲ主ナルモノトス。尙價額五萬圓以上ニ達セル魚類ニ付其ノ數量及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	數量 斤	價額 円
サバ	778,249	285,226
タヒ	56,074	149,345
アユ	179,611	131,615
トラバカニ	103,792	101,441
アユ	21,612	100,724
マダラ	165,120	93,652
イカ	108,418	91,129
アザ	171,723	87,070
イワシ	1,350,251	76,031

遠洋漁業 昭和八年未現在ニ於ケル遠洋漁業ニ從事セル漁船ハ五十二隻(發動機漁船)此ノ總噸數ハ八百六十七噸、乗組員四百二十八人ニシテ前年ニ比シ隻數四十一隻、噸數四百三十噸、乗組員二百八十五人ヲ減少セリ、而シテ之ガ漁獲高ハ數量五十六萬千六百二十七貫、價額二十八萬三千七百圓ニシテ前年ヨリ減少セルモ、其ノ主ナル魚類ハ鱈、鯨、鯛、鰈等ナリ。尙漁撈方法別ニ漁船數及漁獲高ヲ示セバ次ノ如シ。

	船數 隻	漁獲高 斤	價額 円
沖曳網漁業	35	397,007	222,372
施網漁業	9	125,450	40,135
刺網漁業	8	39,170	20,500

工 業

機業場數 昭和八年末ニ於ケル機業場總數ハ千九百二、内綿織物八十一(四分)絹及絹綿交織物千七百八十四(九割四分)麻及麻交織物三十七(二分)ニシテ前年ニ比シ綿織物ニ於テ五ヲ減シタルモ絹及絹綿交織物百六十七、麻及麻交織物一ヲ各増加セリ。

之レ主トシテ人造絹糸織物ノ有利ナル爲新ニ閉業セルモノ多カリシニ因ル。之ヲ機臺別ニスレバ、十臺未満ノモノ六百六十四(三割五分)十臺以上五十臺未満ノモノ千二十六(五割四分)五十臺以上ノモノ二百十二(一割一分)ナリ。

機臺數 昭和八年末ニ於ケル機臺數ハ四萬九千七百四十三ニシテ内綿織物千五百十五(三分)絹及絹綿交織物四萬七千八百九十五(九割六分)麻及麻交織物三百三十三ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ綿織物ニ於テ百四十三ヲ減シタルモ、絹及絹綿交織物四千六百三十五、麻及麻交織物十九ヲ何レモ増加セリ。

機業職工數 昭和八年末ニ於ケル機業職工數ハ三萬三千七百九十四人、内男六千五百七十一(一割九分)女二萬七千二百八十七人(八割一分)ニシテ前年ニ比シ男八百人、女千八百七十七人ヲ増加セリ。

織物産額 昭和八年ニ於ケル織物生産額ハ一億千九百七十七萬八千三百五十五圓ニシテ本縣工産額ノ八割三分ニ當リ前年ニ比シ千七百八十九萬七千七百三十三圓ヲ増加セリ。之レ主トシテ輸向人造絹糸織物ノ増加シタルニ因ル。之ヲ品目別ニ觀レバ廣幅物九千七百八十五萬九千八百五圓、小幅物千二百十萬千五百七十四、特種物二百一萬七千三百九十三圓ニシテ尙種類別ニ觀レバ絹織物一億二百三十八萬五千八百四十一圓(内約七割ハ人造絹糸織物)首位ヲ占メ(總額ノ九割一分)綿織物ノ三百一萬二千八百四十一圓、絹綿交織物五百六十三萬六千三百七十二圓、麻及麻交織物ノ九十四萬三千三百一圓ノ順位トス。

又産額ヲ地方別ニ觀レバ福井市ノ二千五百八十七萬七千四百七十七圓(二割三分)ヲ最多トシ吉田郡ノ二千七萬六千二百八十五圓(一割八分)之ニ亞ギ、今立郡一千七百九十五萬一千五百五十五圓(一割六分)大野千七百六十四萬三千八百三十一圓(一割六分)坂井郡千六百七十三萬七千八百六圓(一割六分)ヲ主ナルモノトス。

染物 昭和八年末ニ於ケル染物工場ハ百一職工數千二百四十七人ニシテ前年ニ比シ工場數四、職工數三百五十一ヲ各増加セリ。之レ主トシテ人造絹糸織物ノ染色工業ノ勃興ニ因ル。尙之ヲ種類別(染貨)ニ觀ルニ無染物二百一萬三千二百七十圓(五割五分)捺染物百五十六萬九千九十四圓(四割三分)其ノ他九萬一千五百九十六圓ナリ。

而シテ染貨總額ハ三百六十七萬三千九百六十圓ニシテ前年ニ比シ百四萬六千六百七十九圓ヲ増加セリ。

製絲 昭和八年末ニ於ケル製絲場數ハ二百二十、練絲釜數千八百二十四釜ニシテ前年ニ比シ場數七十釜數二百一釜ヲ減少セリ之レ主トシテ釜未滿ノ工場衰退ニ由ル。而シテ製絲總額ハ五萬三百四十五貫、價額二百五萬四千四百七十圓、内生糸

四萬二千五百八十七貫、價額百八十四萬五千三十一圓、屑物七千七百五十八貫、價額五萬六千五百八十七圓ニシテ前年ニ比シ數量四千七百八十八貫、價額十五萬二千八百五十二圓ヲ減少セリ。

尙之等ヲ器械製絲、座繰製絲及玉絲製絲列ニ觀レバ器械製絲場數ハ十六、絲釜數千三百三十五釜、其ノ製絲數量四萬八百三十五貫、價額百五十九萬八千五百三十四圓ニシテ前年ニ比シ五十釜以上百釜未滿ノ工場一ヲ減シタル爲釜數モ同様減少セリ、而シテ最も旺盛ナル地方ハ遠敷郡ニシテ九工場七百二十釜ヲ有シ其ノ産額ハ二萬二千八百貫、價額八十九萬六千圓ニ達シ器械製絲ノ五割餘ヲ占ム之ニ亞グハ大野郡、丹生郡ノ順位ナリ。

座繰製絲ニ在リテハ場數二百二、絲釜數六百八十七釜、其ノ製絲數量九千四百八十五貫、價額三十萬二千五百五十六圓ナルモ逐年衰微シツツアリ、前年ニ比シ工場數四十六、釜數百二十九釜、數量七百八十一貫、價額四萬四千四百二十三圓ヲ何レモ減少セリ、而シテ之ガ盛ナル地方ハ大野郡ニシテ七十四工場、二百八十九釜ヲ有シ産額ハ三千五百貫、價額十一萬圓餘アリテ座繰製絲ノ三割餘ヲ占ム、之ニ亞グハ今立郡丹生郡ノ順位ナルモ之等三郡ヲ除キテハ特記スベキ地方ナシ次ニ玉絲製絲ハ僅カニ丹生郡ニ二工場アルノ外大野郡ニ於テ座繰製絲ト兼テ製絲スルモノアルモ製絲數量ハ二十五貫、價額五百三十二圓ニ過ギズ。

漆器 昭和八年末ニ於ケル漆器製造場數ハ三百二十四、職工數千三百一人ニシテ前年ニ比シ場數一ヲ減シ職工六十六人ヲ増加セリ。而シテ其ノ産額ハ百三十八萬四千五百三十七圓ニシテ前年ニ比シ、八萬七千七百七十七圓ノ増加ナリ。

之ヲ地方別ニ觀レバ、今立郡ノ八十萬二千二百十圓ヲ最多トシ遠敷郡ノ三十一萬八千六百五十八圓、福井市ノ十八萬六千五百五十圓ニ亞グ。尙之ヲ種類別ニスレバ飲食用器物七十四萬三千九百四十圓、家具裝飾品四十五萬二千四百八十五圓、其ノ他十八萬八千二百十二圓トス。而シテ其ノ大部分ハ壁塗ヲ以テテル河和匠塗ト、特種技能ヲ以テ著名ナル若狹塗トニシテ何レモ其ノ弊價高シ。

酒類 昭和七年酒造年度ニ於ケル酒造場數百五十一、職工數千四十一人ニシテ前年ニ比シ場數ニ於テ一ヲ減セルモ職工數ニ於テ一人ヲ増加セリ。酒造總價額ハ三百七十萬五千九百八十八圓ニシテ前年ニ比シ三十五萬四千七百五圓ヲ増加セリ。

而シテ近時其ノ製品ノ品位向上ノ爲杜氏ノ技能養成ト酒造米ノ撰擇トニ努メタル結果先達地ヲ凌駕シ得ルノ優美酒ヲ吟醸スルニ至レリ。尙種類別ニ之ヲ示セバ次ノ如シ。

	數量	價額
清 酒	51,717	3,614,313
白 酒	307	34,720
味 淋	187	47,465
燒 酎	59	8,700

紙類 昭和八年末ニ於ケル製紙場數ハ器械漉十四、手漉六百二十七ニシテ前年ニ比シ器械漉ニ於テ四ヲ増加セルモ、手漉ニ於テ六十一ヲ減少セリ。而シテ之ガ職工數ハ器械漉ニ於テ四

十七人ヲ増加シ手漉ハ之ニ反シ百七十五人ヲ減少セリ。製紙總價額ハ三百三十七萬四千六百六圓、內器械漉二百五十二萬四千六百四十五圓(七割五分)手漉八十四萬九千九百五十八圓ニシテ之ヲ地方別ニ觀レバ南條郡ノ百六十一萬三千九十八圓(四割八分)ヲ最多トシ今立郡ノ百二十八萬七千四百四十八圓(三割八分)遠敷郡ノ二十四萬二千二百七十一圓、敦賀郡ノ二十二萬六千四百二十圓之ニ亞ギ、其ノ品種ハ證券紙、鳥ノ子、越前春巻、印刷料紙、透明紙、包装用紙、襖張用紙等ニシテ其ノ名噴々タリ。

商業及會社

商事會社 昭和八年末ニ於ケル商事會社ハ四百四十ニシテ其ノ公稱資本金及出資額ハ七千三百二十二萬二千七百七十圓ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ會社數ニ於テ一ヲ増シタルモ公稱資本金及出資額ニ於テ五百四十二萬二千九百六十七圓ヲ減少セリ。之レ主トシテ大會社ニシテ他縣ニ本店ヲ有スル會社ニ合併セルモノアリタルト減資セル會社アリタルトニ因リシテ之ヲ組織別ニ觀レバ合名會社五十四、出資額百九萬九千二百三十一圓合資會社百八十、出資額三百十九萬二千八百八十九圓、株式會社二百六公稱資本金六千六百二十萬九千五百五十圓ナリ。

更ニ之ヲ資本金別ニ分ツトキハ五萬圓未滿ノモノ二百七十六(資本金三百五十七萬二千二百二十圓)五萬圓以上十萬圓未滿ノモノ五十七(資本金三百八十七萬五千五百圓)十萬圓以上五十萬圓未滿ノモノ七十七(資本金千二百四十五萬圓)五十萬圓以上百萬圓未滿ノモノ十三(資本金七百五十二萬六千六百五十圓)百萬圓以上五百萬圓未滿ノモノ十四(資本金二千六百七十七萬圓)五百萬圓以上ノモノ三(資本金千七百五十一萬五千圓ニシテ一會社平均資本金ハ合名會社二萬三百五十六圓、合資會社一萬二千八百八十二圓、株式會社三十二萬五千二百二十九圓ナリ。

尙之ヲ業別ニ觀察スレバ商業ニ屬スルモノ最多ニシテ二百十社ヲ算ヘ其ノ資本金三千二百七十二萬五千二百四十五圓ニシテ積立金五百五十三萬五千二百二十七圓、配當金八十萬二千三百三十四圓ナリ。次ハ工業ニ屬スルモノニシテ百五十三社、資本金二千六百六十五萬四千八百三十五圓、積立金二百六十一萬二千四百八十七圓、配當金百八萬五千二百二十八圓ナリ。

普通銀行 昭和八年末ニ於ケル普通銀行ハ六行ニシテ其ノ公稱資本金千九百三十一萬五千圓、拂込資本金千二百六十六萬二千五百圓ナリ。年末ニ於ケル積立金ハ四百六十二萬三千九百四十四圓ニシテ前年末ニ比シ十九萬圓ヲ増加セリ。純益金ハ八十八萬七千三百三十三圓ニシテ前年ニ比シ三萬八千九百五十四圓ノ増加ナリ。

次ニ株主配當金ハ六十一萬九千二百六十四圓ニシテ前年ニ比シ百九十六圓ヲ減シ拂込資本金ニ對シ六分二厘ニ當ル。年内ニ於ケル現金、預金、貸付金ノ全勘定ノ取扱高ヲ觀ルニ現金勘定ニ在リテハ入金ハ八億八千八百八十六萬四千四百八十九圓ニシテ前年ニ比シ三億八十九萬四千五百二十圓ヲ増加シ又出金十八億八千九百九十三萬九千五百圓ニシテ前年ニ比シ

三億三百二十二萬八千五百六十三圓ヲ増加セリ。

預金勘定ニ在リテハ總預リ高三億五千六百八十四萬七千五百六十一圓ニ達シ年末現在高ハ五千九百十萬七千九百五十七圓ニシテ前年ニ比シ總預リ高ニ於テ四千六百七十五萬四千九百五十八圓、年末現在高ニ於テ六十七萬三千七百四十六圓ヲ各増加セリ。

之ヲ口座別ニ示セバ次ノ如シ。

	年內預リ高 (千円)	年末預金高 (千円)
當座預金	201,976	6,929
特別當座預金	84,168	13,480
定期預金	63,282	37,368
公金預金	0	0

其ノ他 7,422 1,330

貸付金勘定ニ在リテハ總貸出二億九千五百七十九萬二千六百七十九圓ニ達シ年末現在高ハ三千八百九十八萬百五十二圓ニシテ前年ニ比シ貸出高ニ於テ百二十一萬九千二百八十四圓ヲ減少セリ。

之ヲ口座別ニ示セバ次ノ如シ。

	年內貸出高 (千円)	年末現在高 (千円)
證書貸付	1,561	5,143
手形貸付	99,380	18,357
當座貸付	184,822	15,480
コールローン	10,030	0